

令和7年8月23日(土)

真岡市歴史教室 2025 第3回

とちぎ戦後80年 ～親子で知ってみませんか? “戦争”のこと～

栃木県立博物館 学芸部人文課

特別研究員 小柳真弓

はじめに

●戦争の時代を実際に経験した世代が減ってきている……

- ・意識しないと、かつて日本が戦争をしていた時代の情報に接することができない
- ・「経験した世代の語り継ぎ」と同じぐらい、「資料をのこす」ことが大切
→写真や実物資料が残っていると、想像力を補える
より適切にその時代を理解できる

●今、栃木県立博物館では軍隊・戦争と栃木の関係を紹介する展示をしています

- ・副題の「おやと子で知る」にこめた願い
→幅広い年代の方々に戦争について知ってほしい!(親と子、祖父母と孫……)
- ・子どもだって、日々触れるニュースから戦争についていろいろ考えている
→次の世代を担う子どもはもちろん、その親世代も学んでいかなければならない
(自戒も含め)
- ・本企画展オリジナルキャラクター「ハトオ」が子どもむけにナビゲート!



近代とちぎがあゆんだ戦争の歴史

嘉永7年(1854) ペリー来航→江戸幕府に開国を要求(その他の欧米列強も日本に接近)

慶応3年(1867) 大政奉還(徳川慶喜が政権を朝廷に返上)

慶応4年(1868) 戊辰戦争(新政府に対し旧幕府軍が抵抗)

明治6年(1873) 徴兵令(20歳以上の男子に2年間の兵役を課す)→国民皆兵を目指す

明治10年(1877) 西南戦争

→国内の治安がようやく落ち着く

明治17年(1884) 宇都宮におかれた軍隊が千葉県へ移転

明治27年(1894) 朝鮮半島に進出したい日本と、
朝鮮を属国として扱う清が対立!
→日清戦争



宇都宮城の跡に兵士の宿舎や
訓練場がおかれたよ!

明治 28 年（1895）^{しものけき} 下関条約で講和……日本は【^{ばいしやうきん}賠償金】^{りやうとうはんとう}【遼東半島】^{かくとく}を獲得

日本のロシアに
対する感情が悪化

▲▲▲

日本の進出を警戒するロシアが
ドイツ・フランスとともに^{さんこくかんしやう}三国干渉

明治 37 年（1904）日本とロシアの対立が深まり、^{にちろせんそう}日露戦争が起きる

Q2



かろうじて勝利

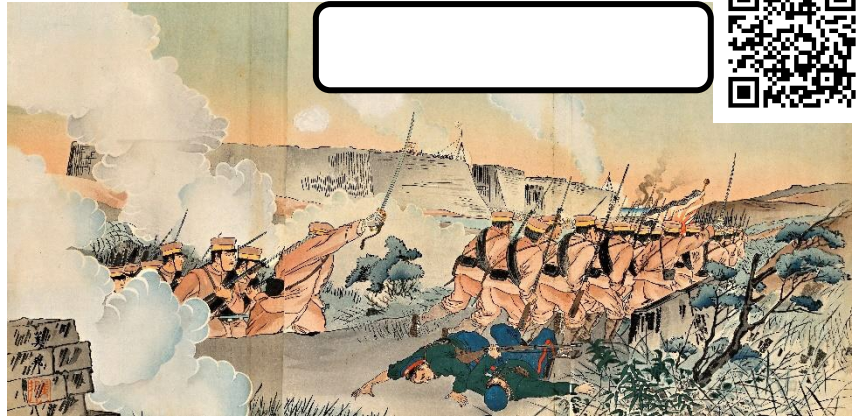
アメリカの仲介で講和
（ポーツマス条約）

→【賠償金】なし

【^{ちやうしゆんいなん}長春以南の鉄道の利権】

【^{かんこくけん}韓国への監督権】獲得

※1910 年 韓国併合



我軍猛進攻撃旅順背面美邦画 明治 37 年（1904） 個人蔵（陸上自衛隊宇都宮駐屯地防衛資料館寄託）

明治 38 年以降 日露戦争の最中から日本は軍勢力を増強 日本企業や軍隊が満州に進出

→増やした軍隊をどこに置く！？

→中国の強い反発を招く

明治 42 年（1909） 宇都宮に「^{だいじゅうよんしだん}第十四師団」が置かれる

※歩兵・騎兵・野砲兵・輜重兵からなる部隊（約 1 万人）

大正 3 年（1914） 第一次世界大戦がヨーロッパで起きる

→日本は革命が起きたロシアに干渉してシベリア出兵（～1922）

（大きな成果は得られず国内からも批判を受ける）

大正 7 年（1918） ^{こめそうどう}米騒動（米の値段がはねあがったことを理由に）

大正 12 年（1923） ^{かんとうだいしんさい}関東大震災（社会不安）

昭和 2 年（1927） ^{きんゆうきやうこう}金融恐慌（日本全体が不況に…）

昭和 6 年（1931） 満州の日本軍（^{かんとうぐん}関東軍）が満州事変を起こす

＝「中国軍に線路を爆破された」→日中間で交戦状態に…

（本当は日本軍の自作自演）

昭和 7 年（1932） 満州国建国（^{しつせい}執政・^{ふいぎ}溥儀に実権なし

……日本の傀儡政権）

→国際社会の承認を得られず……



Q4



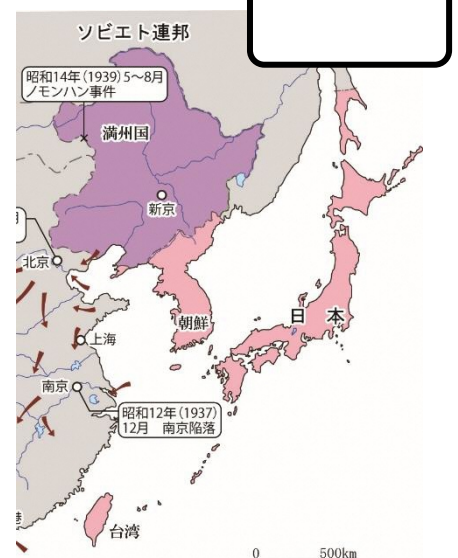
日本の撤退に

賛成 _____ 票

反対 _____ 票

昭和 8 年（1933） 日本、^{こくさいれんめい}国際連盟を脱退

Q3



満州国建国時の日本の勢力圏

昭和 10 年（1935） 東北地方で冷害、凶作に

昭和 12 年（1937） 7 月 日中戦争がはじまる

→以降、戦地への動員数は年々増加しつづけていく

（昭和 12 年：約 59 万 4 千人→昭和 20 年：約 356 万人）

昭和 13 年（1938） 国家総動員法

昭和 15 年（1940） 日独伊三国同盟

昭和 16 年（1941） 1 月 アメリカが日本に対する石油の輸出を禁止

12 月 8 日 海軍がハワイ・真珠湾を攻撃 陸軍がマレー半島上陸

昭和 17 年（1942）～ アメリカをはじめとした連合軍の攻勢が激化

→日本は防空圏を少しずつ縮小させていく……

昭和 19 年（1944） 7 月 サイパン島の日本軍守備隊が玉砕

8 月 学童疎開促進要綱により都市部の子どもたちが地方へ集団疎開

昭和 20 年（1945） 3 月 10 日 東京大空襲（10 万人以上が犠牲に）

4 月 26 日～ アメリカ軍が沖縄に上陸（～6/23 沖縄戦）

→沖縄警察部長・荒井退造が県民保護に尽力

→陸海軍が「特攻」を実行（約 4000 人が犠牲に）

7 月 12 日 宇都宮空襲（620 人以上が犠牲に）

※真岡・鹿沼にも焼夷弾が投下される

（真岡では 9 歳の少年が犠牲に）

8 月 6 日 広島にウラン型原子爆弾投下（14 万人以上が犠牲に）

8 日 ソ連軍が満州北部・樺太・朝鮮に侵攻

9 日 長崎にプルトニウム型原子爆弾投下（7 万人以上が犠牲に）

15 日 昭和天皇、ポツダム宣言の受諾を国民に伝える

10 月 GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）が進駐

→日本人の非武装化・民主化……



Q5



戦後日本が抱えた
課題とは…？？

昭和 21 年（1946） 11 月 3 日 日本国憲法制定（翌年 5 月 3 日公布）

昭和 22 年（1947） 農地改革（地主の多くが土地を失う）

教育基本法・学校教育法制定

昭和 26 年（1951） サンフランシスコ平和条約に調印（日本の主権回復が認められる）

昭和 31 年（1956） シベリア抑留者の引揚げが完了

拝啓 お父様 御無沙汰致しました。御元氣ですか。母上様、他皆一同御元氣の事に存じます。私は相変らず不自由なく元氣に愉快にやっております。御安心下さい。変動期の事と生活に相當困難な事を度々お父上並に皆様の御苦勞御苦勞を思ひ時は一刻も早く歸國致し御援助致し度いと思ふが、如何せん、誠に申譯がまま、再興は如何ですか。爆撃前の御父上の復元は承知も居りましたが、其後は如何でしたか。現在の家計、營業、弟妹の健全、其の他御知らせ下さい。私もはなはだ故郷を、満洲有半、二十五も半は過ぎました。青春は無駄に過ぎましたが、此の間、貴重な体験をせめてもの土産として復興に資さんと願ひ居ります。故國の便りの公表、依つて内地の状況は承知致しました。新に民主的日本へ生れかゝつた、ある過渡期に當り健康と頭腦と協力に依り頑張つて下さる私も近き將來の再會を確信して皆様の御期待にそひたいと思つてゐます。

俘虜用郵便 昭和二年 栃木県立博物館蔵

校長先生 その後お変わりございませんか。一雨ごとに暖かくなつて居ります。僕達も毎日元氣で七日十七時、市谷國民學校に歸校致しました。考へて見ればあの半年、鬼怒川の開拓、麦踏み大豆、落花生の收穫、稲刈り、雪合戦、鬼追ひなどいろいろな楽しい事がありました。この楽しい中にも私達の爲に、体に勉強に色々御世話下さいまして誠に有難う御座居ます。私達一同厚く御禮申し上げます。今後とも私達は心を鍛へ上げて、きつとあの憎い米英をやっつけます。ではお元氣で。

篠崎九平宛疎開児童書簡 昭和二〇年 真岡市蔵

(一部抜粋)

私は故郷を出て満二年有半、二十五才も半ばを過ぎました。青春は無に致しましたが、此の間の貴重な体験をせめてもの土産として復興に資さんと願ひ居ります。(中略) 新しい民主的の日本へ生れかゝりつゝあるこの過渡期に當り健康と頭腦と協力に依つて頑張つて下さい。私も近き將來の再會を確信して皆様の御期待にそひたいと思つてゐます。

校長先生 その後お変わりございませんか。一雨ごとに暖かくなつております。

僕たちも毎日元氣で七日十七時、市谷國民學校に歸校いたしました。

考えてみればあの半年、鬼怒川の開拓、麦踏み、大豆、落花生の收穫、稲刈り、雪合戦、鬼追ひなどいろいろな楽しいことがありました。

この楽しい中にも私たちのために、体に勉強に、いろいろお世話くださいまして誠にありがとうございます。

私たち一同厚く御礼申し上げます。

今後とも私たちは心を鍛えあげて、きつとあの憎い米英をやっつけます。ではお元氣で。さようなら。



いまや戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしたくないと思いませんか。こんな戦争をして、日本の国はどんな利益があったでしょうか。何もありません。ただ、おそろしい、かなしいことが、たくさんあっただけではありませんか。
(「あたらしい憲法のはなし」より)

あたらしい憲法のはなし 昭和23年 栃木県立博物館蔵

